

式 辞

春たけなわ、吹く風もさわやかに感じられるこのよき日に、令和 6 年度の崇城大学ならびに大学院の入学式を挙行できますことは、教職員一同、喜びと感謝の念に堪えません。このたびは、5 年ぶりに新型コロナによる行動規制が解除されたことから、ご来賓ならびに保護者の皆さまにもご臨席を賜り厚くお礼申し上げます。

まずは、5 学部新入生の皆さん。また、工学、芸術、薬学、それぞれの大学院研究科に進学された皆さん。本日のご入学、誠におめでとうございます。そして、これまで皆さんを温かく見守ってこられた保護者の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。ご子息・ご息女の晴れ姿をご覧になり、感慨もひとしおのことと思います。

さて、学部新入生の皆さん。高校生活の大半をコロナ禍の環境で過ごし、授業だけでなく学校行事、クラブや交友活動も制限されるなど、多くの苦難を乗り越えて来られました。これまで心残りであったことも併せて、本日から新たにスタートする大学生活を存分に楽しんでください。皆さんには様々な場面で勇気を持って行動し、よい思い出をたくさん作ってほしいと思います。昨年の新型コロナの 5 類移行に伴い、本学でも、ようやく本来の教育研究体制を取り戻したところです。DX および SDGs の推進により、さらなるキャンパス環境の充実に努めながら、国内外で積極的に活動している教職員が一丸となって、皆さんのキャンパスライフを一生懸命支え続けます。夢や希望を抱いて本学に入学してくれたことに感謝し、新入生皆さんの思いに沿えるように全力を尽くしてまいります。

また、研究科の厳正な入学試験に見事合格し、大学院修士課程あるいは博士課程に進学された皆さん。学部教育で培った学力を生かし、さらに高度な知識や専門性を身につけてください。優れた研究成果を上げて、国内外の学会やイベントなどで社会貢献されることも大いに期待しています。

本日、皆さんの中には外国人留学生も多く確認できます。晴れて入学を迎えられ、心より祝福したいと思います。日本語の習得や日常生活での習慣の違いなどに苦労するかもしれませんが、学業に励む中で、本学が進めているグローバルな異文化交流にも気軽に参加してください。

ところで、今年の元日に発生した能登半島地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらし、世界中の人びとの心を痛めています。約 8 年前の熊本地震を上回るマグニチュードの大地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます。このような地球規模の自然災害や異常気象に加えて、約 2 年前から続いているロシアのウクライナ侵攻、さらに昨年始まったパレスチナ武装勢力とイスラエルとの

衝突など、国際情勢は不透明かつ混迷の度合いを増しています。地震の被災地や荒廃した戦場の様子が映像で伝わるたびに、熊本地震のときそうであったように、若い皆さんのアグレッシブで力強い支援が創造的復興への鍵になると思っています。

一方で、人工知能 AI や、モノがインターネット経由で繋がる IoT の普及に伴い、Society5.0 のデジタル社会が到来しようとしています。人びとの創造活動を模倣する生成 AI が既存の産業構造や社会の価値観を大きく変えつつある現在、日本は明治維新と戦後に続く「3 番目の大改革時代」を迎えているとも言われます。例えば熊本でも、台湾から進出した世界最大の半導体受託製造企業である TSMC の動向は、国内産業の歴史的な社会変革を導くことになると思われます。このように世界情勢の変化が激しい近未来社会において、先端科学技術のイノベーションによりさらなる価値を創り出し、人類の平和で豊かな社会を築いていくのはまさに皆さんです。本学でも、「ポスト AI 時代の知の拠点」を見据えて、学修者本位の教育を目指した斬新な改革を進めています。

皆さんは、大学生活に不安や希望を持ちながら、この場におられることと思います。そこで、これから本学で学ばれる皆さんに 3 つのアドバイスを贈ります。第一のアドバイスは、それぞれの学科や研究科の専門課程を履修する中で、前に踏み出す力として大切な主体性を磨くことです。本学では、建学の精神「体・徳・智」の下、「学生の心に火をつける」をモットーに実学主義の体験型教育に力を入れています。そのため、授業のみならず課外活動でも、大学の学びを深化できる各種センターやギャラリー、研究所などが数多くありますので、これらの機会を有効に活用してください。オープン AI の CEO で、チャット GPT の生みの親であるサム・アルトマンは、「自分がしたいことをやらない理由を作り出させてはいけない」と述べています。大学は、ハイレベルの教育と研究に主体的に取り組める絶好のチャンスの中の一つであります。本学が導入しているポートフォリオシステムにより、何を学んだかではなく、何ができるようになったかを追求してください。皆さんには、失敗を恐れずに多様な経験をしてほしいと願っています。

次に、第二のアドバイスは、加速するグローバル時代を生き抜く国際力を身につけることです。本学には、学内にいながら海外気分が味わえる SILC という英語学習施設があり、ネイティブ教員の直接指導により生きたコミュニケーション英語にチャレンジできます。この SILC 内に設けた英語の自立学修センター SALC では、一人ひとりの目標に合わせた自由な学びも可能です。加えて、国際交流センターが皆さんの外国への留学や研修に関わるプログラムあるいはイベントを企画し、さらに奨学金制度なども充実させて国際的な交流活動を積極的に支援します。海外協定校は現在 39 校あり、ぜひ広い視野を持って貴重なグローバル体験をしてみてください。

そして、第三のアドバイスは、新しい学びに果敢に挑戦し、自身のポテンシャルを引き出すことです。本学では、起業家精神を学ぶアントレプレナーシップ教育を推奨し、その中で独創性、創造力や課題解決力などが養成されます。この教育に結びついて、S0J0 アントレプレナーシップラボでの部活動、あるいは学内外のビジネスプランコンテストにも参加できますので、皆さんのチャレンジに期待します。一方で、将来に欠かせない数理・データサイエンス・AI 教育を全学展開させており、高いデジタルスキルを備えた情報活用力の向上を目指してください。また、最先端の ICT 技術により近未来空間を体感できる IoT・AI センターでは、企業や自治体と連携したプロジェクト型アクティブラーニングや異分野融合のメタバースコンテストなど、様々なイノベーションの場を提供します。皆さんには新しい友達づくりとともに、未知のことにたくさん挑戦してほしいと願っています。本学の先進的な体験型教育は、皆さんの「ワクワク・ドキドキ感」を高めることになると思います。一人ひとりの興味・関心が刺激されて楽しさや面白さを味わえば、必ずモチベーションが上がります。皆さんは、大学生活で経験を重ねるごとに自信をつけて、社会に求められる人材へと成長するはずです。どうか一緒に、本学を「感謝と笑顔のあふれる温かいキャンパス」にしていきましょう。

最後になりますが、皆さんには運命を生きるのではなく、自身の運命を切り拓く力があります。本学でどのように過ごし、何を身につけたかにより、皆さんの将来への道筋は大きく変化します。これから始まる学生生活を通して、限りない可能性を秘めた皆さんが健康で逞しく成長されることを心から祈念し、式辞といたします。

令和 6 年 4 月 5 日
崇城大学学長 小野長門